

ブリッジドット株式会社

| | |
|-----------------------|---|
| ワーケーション先 | 栃木県日光市 |
| 日程 | 12月24日～26日 |
| 参加者数 | 2人 |
| ワーケーション内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・日光市と「SW²P NIKKO」や「スマートワークライフ#Nikko」について意見交換 ・いちご狩り体験、SL大樹の乗車体験 ・地域体験プログラム（キーホルダー制作）の実施 など |
| 参加理由 | <p>単なる一時的な訪問ではなく、「継続的な関係性」を築ける地域を模索していたためです。</p> <p>移動の利便性（都心からの近接性）に加え、豊かな自然環境を持つ日光市を候補地として選定しました。</p> |
| 訪問して感じたワーケーション先自治体の魅力 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな自然環境と文化資源 都心からの近接性がありながら、山や豊かな自然環境に恵まれています。 日光東照宮などの地域文化資源や、華厳の滝といった象徴的な観光コンテンツが豊富です。 SL大樹の乗車体験など、観光面での訴求力が高い点が魅力です。 2. 官民連携の積極的な姿勢 自治体（日光市）が「スマートワークライフ#Nikko」や「SW²P NIKKO」といったプロジェクトを推進しており、外部人材や事業者を受け入れる体制が整っています。 市役所内に、子ども連れでも安心して利用できる子どもにやさしい設計がなされているなど、柔軟な受け入れ環境があります。 3. 持続的な関係構築の可能性 単なる観光地としてだけでなく、「関係人口」の創出を重視しており、地域と継続的・多様に関わりを持つための土壌があります。 デジタルスキルを持つ人材と地域課題を結びつけようとする動きがあり、新しい働き方のモデル形成が期待できる地域です。 |



子どもが泣いたときも、温かく対応していただきました。

今回のワーケーションで
得た気づき

1. 地域との関わり方における気付き

「交流人口」から「関係人口」へ：単発的な観光（交流人口）ではなく、地域と継続的・多層的に関わる「関係人口」の創出が、持続可能な地域づくりには不可欠であると再認識しました。

中長期的な視点の重要性：単発の訪問で終わらず、拠点登録（スマートワークライフ#Nikko）などを通じて、安定した活動基盤を確保し、継続的に関わる体制を整える必要性を感じました。
2. 働き方と環境に関する気付き

リモートワークの親和性：オンライン会議や通常業務を滞りなく行える環境が整っており、地方でもデジタル領域の仕事が十分に成立することを実感しました。

季節変動の考慮：冬期の気候条件や交通環境、生活動線などを実際に把握することで、季節に応じた実効性の高い取組を検討する重要性に気付きました。
3. 地域課題とビジネスの接点

「仕事の創出」という根本課題：地域に住み続けるための就業機会の確保が喫緊の課題であり、自社のデジタル知見を活かした具体的なプロジェクト創出の可能性を見出しました。

外部視点の活用：地域内のコミュニティ（SW²P NIKKO等）に対し、外部からの視点や知見を持ち込むことが、新たな連携や価値創造に繋がるという手応えを得ました。
4. 多様な背景への配慮

子連れワークへの寛容性：市役所などの公共施設が子どもにやさしい設計になっており、子連れでの活動に対しても寛容に対応いただけたことで、多様なライフスタイルに合わせたワ

| | |
|-------------------|---|
| | <p>ークスタイルの可能性を感じました。</p> |
| <p>本事業に参加した感想</p> | <p>栃木県日光市との交流を通じて、一時的な訪問に留まらない「継続的な関係性」を構築できる手応えを感じました。</p> <p>日光市が推進する「スマートワークライフ#Nikko」や「SW²P NIKKO」の取組に触れ、デジタル領域の知見を活かした地域課題解決への貢献に強い意欲を持ちました。</p> <p>「仕事の創出」や「住み続けるための就業機会の確保」という根源的な課題に対し、外部視点からの具体的な連携案を検討していきたいと考えています。</p> |

